医療法人丸岡医院通所リハビリテーションの運営規定

1. 事業の目的及び運営の方針

(事業の目的)

第1条

医療法人丸岡医院が開設する通所リハビリテーション事業所が通所リハビリテーション事業の適正な運営を確保するため、人員及び管理運営に関する事項を定め、事業所の看護職員及び介護職員が要介護状態または、要支援状態にある高齢者に対し、適切な支援の提供を行うものである。

(運営の方針)

第2条

指定通所リハビリテーションの事業は、要支援・要介護状態となった場合においても、その利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことが出来るよう、理学療法、作業療法その他必要なリハビリテーションを行うことにより、利用者の心身機能の維持回復を図るものとする。

(事業所の名称)

第3条

事業を行う事業所の名称及び所在地は次のとおりとする。

- (1) 名称 医療法人 丸岡医院
- (2) 所在地 酒田市松原南 15 番 1 号

第4条

従業者の職種、員数及び職務の内容

- ・管理者 田中 栄一
管理者は、事業所の従業者の管理及び業務の管理を一元的に行う。
- ・医師 田中 栄一
利用者の健康管理等にあたるもの。
- ・看護師 2名以上
- ・理学療法士、作業療法士もしくは言語聴覚士 2名以上
- ・介護職員 8名以上

医師の指示及び通所リハビリテーション計画に基づき、利用者の心身機能の維持回復を図り日常生活の自立のため援助する。

第5条

営業日及び営業時間

- (1) 営業日 月曜日から土曜日とする。ただし、12月30日から1月3日を除く。
- (2) 営業時間 午前8時30分から午後5時30分とする。
営業時間内の利用者等の見学はいつでも出来るものとする。

第6条

指定通所リハビリテーションの利用定員1日48人までとする。

第7条

指定通所リハビリテーションの内容及び利用料・その他の費用の額

- 内容
1. 通所リハビリテーション計画の作成
 2. 理学療法、作業療法その他必要なリハビリテーションの実施
 3. サービス実施状況の継続的な把握と評価
 4. 他事業所、医療との連携

費用について

- ① サービス利用料:介護報酬告示額とする
- ② その他の費用:食費 600 円（おやつ代を含む）
※一口大及び刻み食 50 円/日、極刻み及びミキサー食 150 円/日は別途課金
オムツ代 実費
- ③ 前二項の費用の支払いを受ける場合には、あらかじめ利用者又はその家族に対し、当該サービスの内容及び費用について文書で説明を行い、利用者の同意を得るものとする。

第8条

通常の実業の実施地域

通常の実業の実施地域は、酒田市の区域とする。

第9条

サービス利用に当たっての留意事項

- ・ 利用者同士の喧嘩、口論、中傷などの行為はさげなければならない。
- ・ 職員の指示などに従い事業所の規則などを守る様努めなければならない。
- ・ 相互の信頼関係を保ち、心身の安定を図る。
- ・ 故意に事業所の備品を破損した場合は個人弁償となる。

第10条

非常災害対策

- ・ 避難訓練を年2回（4月・10月）利用者を含め実施する。
- ・ 消防活動の実施（管理権限者、自衛消防隊長、避難誘導班、通報連絡班、消火班設置）

第11条

虐待防止に関する事項

事業者は、利用者への虐待は人権侵害であり、犯罪行為であると認識し、高齢者虐待防止法に基づき、高齢者虐待禁止、予防及び早期発見を徹底するため指針を策定し、従業者は指針に従い業務にあたることとする。

- (1) 虐待の発生又はその再発を防止するための委員会の開催
- (2) 虐待の防止の為の指針の整理
- (3) 従業員に対し、虐待の防止の為の研修会の実施
- (4) 上記措置を適切に実施する為の担当者を置く

第12条

その他運営に関する重要事項

1. 指定通所リハビリテーション事業所は看護または介護職員等の資質の向上を図るため研修の機会を次のとおり設けるものとする。
 - (1) 採用時研修 採用後3ヶ月以内
 - (2) 継続研修 年2回
2. 従業者は業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を漏らしてはならない。
3. 従業者であったものに業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を保持すべき旨に従業者の雇用契約の内容とする。
4. この規則に定める事項の他、運営に関する事項は医療法人丸岡医院と事業所の管理者との協議に基づいて定めるものとする。

付則

この規定は平成16年6月1日から施行する。

この規定は平成30年10月1日より一部改定する。

この規定は令和6年4月1日より一部改定する。

この規定は令和7年7月1日より一部改定する。